

みなみ公民館だより 4月号

(令和5年4月14日発行) No.402

編集 蕨市立南公民館 蕨市南町2-23-19

TEL 048-442-4055・FAX 048-443-0761

春だ！桜だ！文化展 第26回桜のまち南町文化展 だれでも参加できる美術展

第26回『桜のまち南町文化展』が、3月25日(土)・26日(日)に開催され、2日間で延べ283名の来場がありました。

「誰でも参加できる美術展」には一般公募作品58点や「蕨市公募美術展覧会」絵画・写真・工芸・書道部門の受賞作品の展示のほか「郷土の芸術家展」では、智内兄助・金子徳衛・岡田伊登子・長谷秀雄・織本亘・藤井誠の各氏の作品を展示。毎年ご協力いただいている河鍋暁斎記念美術館からもパネルで見る「暁斎漫画」の世界展と題し出展いただき、豪華で活気のある作品展となりました。

26日の午後は、「春に寄せて」と題し、平井富司子・杉本哲郎 両氏による歌や「文筆と絵筆の間」と題し、脚本家池端俊策・画家智内兄助 両氏による対談が開催され、素晴らしいひと時を演出していただきました。

地域の皆様並びに関係者の皆さまの暖かいご支援とご協力により、無事終了することができました。心より感謝申し上げます。

また、出品して下さった皆様をはじめ、足をお運びくださった皆様に心より感謝申し上げます。

桜のまち南町文化展実行委員会・蕨市立南公民館



講座のご案内

◆小学生～高校生の点字入門教室

日時 4月8日(土) 午前10時～
場所 南公民館 2階団体連絡室
対象 市内の小学生～高校生
※事前にお申込みが必要です

◆おはなしくまさん

日時 4月15日(土) 午後2時～
場所 南公民館 3階集会室
内容 絵本の読み聞かせや工作
※今月は「おはなをつくろう」です。

◆にこにこ ONE TWO KIDS!

日時 4月20日(木) 午前10時～
場所 南公民館 2階団体連絡室
対象 1歳児・2歳児のお子さんと保護者
内容 リズムあそびや工作など
定員 8組(先着順)
申込 4月3日(月)～ 電話・メール可



◆0歳児ママのふれあい広場

日時 4月27日(木) 午前10時～
場所 南公民館 2階和室
対象 0歳児(立ち歩きが上手にできるぐらいまで)
内容 0歳児ママの成長ノート
定員 10組(先着順)
申込 4月3日(月)～ 電話・メール可
※赤ちゃんの下に敷くバスタオルをご持参ください。





くるみ保育園 旅立ちの季節



吹く風は冷たいですが、日が長くなってきた今日この頃です。もうすぐ春ですね。春は、たくさんの花が咲き華やかな季節ですが、出会いと別れの季節でもありますね。くるみ保育園でも3/18(土)卒園式を行いました。4月から小学生になる年長さんの立派な姿を見ると嬉しくも・お別れの日が、近づいていると思うと寂しい気持ちの方が、強くなってしまいます。卒園式に向けて、子ども達が赤ちゃんだった頃の写真を飾りましたが、それはそれはとてもかわいく、微笑ましい表情に癒されました。保育園では、一番大きなお兄さん・お姉さんでしたが、小学校に行くと一番小さな学年になってしまいますが、たくさんのお友達をつくり楽しい小学校生活を送って欲しいと願っています。そして、いつでも遊びに来てほしいです。

蕨市立南小学校ひまわり学級

あっという間に3学期が終わり、1年間の学習が終わりました。

今年度は、卒業生が2名巣立ちます。みんなのお兄さん、お姉さんとして活躍した6年生と「残り〇日だね」と数えながら、1日1日を大事に過ごした3学期でした。

2月に行われた小・中合同学習会「卒業生を送る会」は、感染症対策として、オンラインでの実施となりました。卒業生の言葉や在校生の送る言葉、ダンスや劇など、各校の心のこもった出し物をみんなで見ることができました。

南小は、「シンデレラ」の劇に挑戦し、立候補で配役を決めて、どの役もアドリブを入れたり、自分らしく演技に工夫をしたりして、進んで練習に取り組みました。装飾も一からみんなで作りしました。「学習発表会」でも、お母さん、お父さんの前で自信をもって劇を発表することができました。

「6年生を送る会」では、卒業生へのはなむけに、「交流ダンスメドレー」を踊りました。6年生への感謝の気持ちを伝えるとともに、とても素敵な思い出となりました。

今年度は様々な行事が徐々にできるようになり、子供たち一人一人が目標をもって、最後まで頑張ることができました。子供たち同士での関わりも増え、集団の中で支え合う姿をたくさん見ることができました。

地域の皆様におかれましては、今年度もひまわり学級へのご理解ご協力を賜り、ありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。

河鍋暁斎記念美術館 2023年4月展覧会

企画展「暁斎・暁翠 子ども絵」展

同時開催 特別展「『おしえ草孝行和讃』の世界」展

※新型コロナウイルスの感染防止対策等により、予定が急に変更される場合がありますので、最新の情報は美術館のホームページでご確認ください。 <http://kyosai-museum.jp>

会期：2023年3月1日(水)～4月24日(月)

休館日：毎週火・木曜、毎月26日～末日

入館料：一般600円、高校生・大学生500円、小・中学生300円、65歳以上500円

企画展は3月に引き続き、幕末明治の子どもたちがいきいきと遊ぶ姿を暁斎と娘の暁翠が描いた「子ども絵」を展示中です。

また特別展では、孝行を説く「和讃」に合せて狂斎時代の暁斎が滑稽な戯画を描いた『おしえ草孝行和讃』のパネル展示を、4月もお楽しみいただきます。

【今月のお勧め作品】

唐子遊戯図 暁斎(印：暁斎) 紙本墨画 下絵

本図は中国の文人画家・舜挙による「唐子遊戯図」を基に、暁斎が描いた作品です。暁斎は舜挙が描いた唐子(中国の子ども)の特徴をよく捉え、正確なデッサン力で描いています。よく見ると、二人の唐子の表情や衣服の折り目を肥瘦の激しい筆線で巧みに描写し、髪の毛筋まで細かく描いていることがわかります。なお本展では、本図を下絵として制作した錦絵(多色摺木版画)も展示しており、下絵と版画の違いを見比べることができます。

